

放射性セシウムの追加的放出量 (Bq/h)

平成31年2月26日
福島県原子力安全対策課

東京電力では、1～4号機原子炉建屋からの現時点の放出量（セシウム）を、原子炉建屋上部等の空气中放射性物質濃度（ダスト濃度）を基に評価しています。

1月に実施された評価は下表のとおり、1～4号機の放出量の合計で、 1.8×10^4 Bq/h 未満であり、前月と同様に放出管理の目標値（ 1.0×10^7 Bq/h）を下回っていることを確認しています。なお、これによる敷地境界における被ばく線量は年間 0.00022mSv 未満と評価しています。

平成31年1月の状況

原子炉建屋	ダスト採取場所	セシウム 134 (Bq/cm ³)	セシウム 137 (Bq/cm ³)	追加的放出量の 評価値 (Bq/h)	備考
1号機	原子炉直上部北西側	ND (検出限界 1.1×10^{-7})	ND (検出限界 9.9×10^{-8})	5.4×10^2 未満	前月は 3.7×10^2 Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 1.0×10^{-6})	ND (検出限界 1.2×10^{-6})		
2号機 作業期間外	ブローアウトパネル 排気設備入口	3.1×10^{-7}	3.5×10^{-6}	8.3×10^3 未満	前月は 4.7×10^4 Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 1.3×10^{-6})	ND (検出限界 1.1×10^{-6})		
2号機 オベフロ調査 期間中	ブローアウトパネル 排気設備入口	5.3×10^{-7}	5.3×10^{-6}	1.2×10^4 未満	前月は 2.8×10^4 Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 1.3×10^{-6})	ND (検出限界 1.1×10^{-6})		

3号機	原子炉直上部南西	ND (検出限界 1.5×10^{-7})	4.5×10^{-7}	7.2×10^3 未満	前月は 7.1×10^3 Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 1.6×10^{-6})	ND (検出限界 1.1×10^{-6})		
	燃料取出し用 カバー隙間 排気設備入口	ND (検出限界 1.1×10^{-7})	ND (検出限界 9.7×10^{-8})		
	燃料取出し用 カバー隙間 排気設備出口	ND (検出限界 1.1×10^{-7})	ND (検出限界 7.8×10^{-8})		
4号機	燃料取出し用 カバー隙間上部	ND (検出限界 1.4×10^{-7})	ND (検出限界 9.6×10^{-8})	1.4×10^3 未満	前月は 1.3×10^3 Bq/h 未満
計				1.8×10^4 未満	前月は 5.4×10^4 Bq/h 未満

(問い合わせ先 024-521-7255)